

大谷3度目MVP

大リーグDH専任で初

【ロサンゼルス共同＝白石明之】米大リーグで史上初めて「50本塁打、50盗塁」を達成したドジャースの大谷翔平(30)が21日、ナショナル・リーグの最優秀選手(MVP)に満票で選出された。エンゼルス時代のアメリカン・リーグで獲得した2021、23年に続く受賞で歴代2位に並ぶ3度目の選出。指名打者(DH)専任でプレーした選手のMVPは初めてとなった。両リーグでの栄冠は1961年にレッズ、66年にオリオールズで選ばれたフランク・ロビンソン以来、58年ぶり2人目。

58年ぶり両リーグ受賞

ドジャースに移籍した今季は54本塁打、130打点で、2年連続の本塁打王と初の打点王に輝いた。打率3割1分、59盗塁はリーグ2位の好成績を残した。



米大リーグ、ジャイアンツ戦で今季初本塁打を放つドジャース・大谷翔平＝4月3日、ロサンゼルス(共同)

選考はレギュラーシーズンの成績が対象。全米野球記者協会会員30人による投票はプレーオフ前に実施された。最終候補に残っていたフランシスコ・リンドア(メッツ)、ケテル・マルテ(ダイヤモンドバックス)の両内野手を退けた。大谷はメジャー7年目で初めて進んだポストシーズンでも活躍し、ドジャースの4年ぶり8度目のワールドシリーズ制覇に貢献。「ハンク・アーロン賞」を2年連続で獲得するなど、今季の主要表彰を独占している。